

楽西

～ らくさい ～
No.123
令和2年
1月15日発行

- 社会福祉法人
- 京都視覚障害者支援センター

〒610-1111 京都市西京区大枝東長町 1-67

TEL:075-333-0171/FAX:075-333-0172

☒→info@kyo-ssc.com URL→http://www.kyo-ssc.com/

2020年4月

洛西寮は

新たな一歩を踏み出します！



来年度

洛西寮の日中活動サービス事業が

変わります！

洛西寮では現在、福祉サービス事業として、夜間サービス事業の「施設入所支援」（定員30名）、日中活動サービス事業の「生活介護（ちくりん）」（定員20名）と、「就労継続支援 B 型事業（らくさい作業所）」（定員20名）をそれぞれ実施しています。

施設運営において、それぞれの福祉サービス事業の定員数が満たされていることで、健全な施設運営ができるのですが、残念ながら洛西寮では数年前より定員数を割り込み、厳しい財政状況に陥っています。こうした事態を改善するため、今年度より法人内部に「財政強化対策本部」を設置し、今後の洛西寮利用者確保に向けての日中活動事業のあり方について協議を重ね、来る2020（令和2）年4月1日より日中活動事業を B 型一体化（生活介護事業廃止）に向けての体制を進めていくことを決定いたしました。

～就労継続支援 B 型事業一体化の理由として～

- ① 現在、日中活動の生活介護は、定員20名に対し、登録利用者数は15名。一方、就労継続支援 B 型は、定員20名に対し、登録利用者数は25名。今後の利用希望者のニーズが B 型を希望される方が多くなり、現状では定員の関係で受入ができない。
- ② 洛西寮は、働くことが大きな強みであり、基盤でもあります。もともと洛西寮は、身体障害者授産施設として出発。施設で入所しながら、日中は作業をするところから始まりました。現在ちくりんで箱作業をされている利用者の方も、十分、就労継続支援 B 型の利用者としてやっていけます。

～ちくりん利用者は B 型に移行することでどう変わるのか～

Q：作業時間は変わりますか？

A：ちくりん利用者の作業時間については、それぞれ利用者によって働き方の違いがあるので、個別に相談させていただきます。

Q：余暇活動はなくなるのですか？

A：余暇活動もこれまで通り、金曜日の午後（時間は未定）実施する方向で考えています。

Q：買い物支援はあるのですか？

A：買い物をする曜日を決めて、希望者全員で行くことを検討しています。

Q：作業科目はどうなるのですか？

A：現在、ちくりんの利用者の作業は、箱作業ですが、一体化になることで様々な作業にチャレンジしてもらうことができます。

Q：工賃は上がるのですか？

A：作業時間が現状よりも増えるのであれば、当然工賃は上がります。

Q：今のちくりんの作業場はどうなるのですか？

A：現在のちくりんもらくさい作業所になるので、作業場間の移動があります。例えば、今のちくりんの部屋にマシンが入ったりすることも考えられます。その配置については今後検討していきます。

Q：担当職員はどうなりますか？

A：今年度までは現在の担当職員になりますが、来年度は、ちくりん職員も、らくさい作業所の職員となるため、変更があります。

～作業所利用者はちくりんが B 型一体化になることでどう変わるのか～

Q：B 型一体化になることで、作業場はどうなるのですか？

A：現在のちくりんも、らくさい作業所の作業場になります。現在、らくさい作業所の作業場が手狭になっている状況が少しは改善できます。

Q：B 型一体化になることで、工賃が減ってしまうことがありますか？

A：現状を下回らないように、工賃規程の改正を今年度中に検討しています。

Q：B 型一体化になることで、他に変わることがありますか？

A：ちくりんの職員も含め、全員がらくさい作業所の職員となります。各作業も職員全員で実施するため、効率よくスムーズに対応できると思います。時間的に余裕ができるので、今までなかなかできなかった生活支援や余暇活動（リハ活動）等が実施できるよう検討しています。

ミシガン?クルーズ in 滋賀

10月18日(金)、行事委員の利用者4名が中心となり行先や企画等を進め、秋の日帰り旅行を実施しました。今回の秋の行事では、「利用者・ボランティア・職員との交流を深め、リフレッシュできるように楽しい1日を過ごす」ことを目的に、季節を感じられる事と体験メインの行事を企画することとしました。

たくさんの候補地から①六甲牧場と有馬温泉散策 ②栗拾い ③ミシガンクルーズの3か所に絞りこみ、利用者全員で多数決をとりました。その結果、圧倒的多数で「ミシガンクルーズ」に決定しました。



当日は、曇り空。雨が降りませんようにと祈りながら、利用者34名・ボランティア16名・職員15名、総勢65名の参加者で観光バス1台と公用車1台を利用し出発。往路の車内では、利用者の行事委員が司会進行を務め、みんなに自己紹介をしてもらいました。



「ミシガン初めて〜」「ミシガン楽しみです」等の声が多く、車内はミシガントークで大盛り上がりしながら昼食場所である、石山寺門前「洗心寮」に到着。少し早めの昼食でしたが、琵琶湖の美味を集めた、しじみ飯を中心とした「湖国料理」を頂きました。ボリュームがあり、とても美味しかったとの声も上がっていました。食後は、滋賀ならではの特産品を多数取り揃えた売店で、お土産を買っていた方も多かったようです。

そしていよいよ楽しみにしていたミシガンクルーズ。ミシガンは、南湖を周遊する陽気な外輪船で、船内では楽しい音楽やイベントを楽しむことができます。大津港到着後は、13:30から80分コースの乗船時間までの間、自由時間とし散策やお土産を買ったりしながらすごしました。



ところが!時間が近づくとつれ雲行きが怪しくなり、ぽつぽつと雨が降り出し、風が吹き、不吉な予感。乗船券を受け取りに窓口に行くと「強風のため本日のミシガンクルーズは欠航です。」と伝えられ唖然!何とかして乗船できないものかと思っていたところ、少し小さめの代替船「めぐみ」は運行可能となり貸し切りで乗船を楽しみました。30分コースと短時間でしたが、甲板に出て船ならではの風を感じ、湖上を遊覧する雰囲気味わうことができました。

ミシガンに乗船できなかったことはとても心残りでしたが、気持ちを切り替え、復路には「井筒八つ橋」へ立ち寄り買い物タイム。できたての生八つ橋や種類の八つ橋を試食しながら、買物を楽しみ無事帰路に着くことができました。予想外のハプニングもありましたが、良い思い出となりました。

またリベンジしましょう!



みんなで盛り上げた洛西寮まつり♪



9月7日(土)、快晴の下、第34回洛西寮まつりが盛大に開催されました。

最近の傾向として、洛西寮の周りに一戸建ての住宅が増えたためか、子供たちの数が非常に増え、テープカットが終わったとたんに、前庭の洛友会コーナーのスーパーボールすくいやミニバスケットボール、遊びコーナーのお菓子のつかみ取りや重さ当てゲームが子供たちでいっぱいになりました。

また、焼きそば、かき氷、クレープも好評でした。

メインの4階ホールでは、利用者による合唱や事業所PR、音楽の先生の連弾、パン販売、障害者4施設による授産販売、大抽選会が行われました。事業所PRでは事前に利用者が話し合って発表する内容を決めたり、練習を何度もして大変でしたが、みなさん本番では緊張することなく発表することができました。

毎年このように盛大に行えるのも、ボランティアさん、地域住民の皆様、各施設・関係機関の皆様のご協力があったること。感謝を申し上げるとともに、今後とも利用者、洛西寮をよろしくお願い申し上げます。

FUNAOKA STANDARD ♪

11月2日(土)、第16回 船岡スタンダードが行われ、53名の方が施術を受けて下さり大盛況でした。

今回初参加のお二人に感想をお聞きしました。

- ◎事業所の方々が一つになって盛り上げていて凄く楽しそうな雰囲気だなと感じました。
施術させて頂き「凄く気持ち良かった」と仰って頂き嬉しかったです。(織部)
- ◎老若男女、地域の様々な方々と交流でき、平和な一日でした。(前田)



可愛いお客さまが来院♪

11月13日(水)、近隣小学校2年生8名が「まち探検学習」で美鈴を訪ねて来られました。押しボタン信号のシグナルボタンの質問やブレイルメモの体験など、大いに盛り上がりました。点字や使っている道具を積極的に理解しようとして下さる姿勢が嬉しかったと、皆さん感慨深い時間をすごされました。



美鈴のみんなにとっても、大切な経験をした実りある11月でした♪



「ひらかたパーク」に行ってきました♪

11月7日(木)、洛西寮「ちくりん」事業所の利用者と職員・ボランティアで、“ひらかたパーク” 通称“ひらパー”に行ってきました。「ちくりん」の毎年秋の恒例行事であり、来春「らくさい作業所」と一体化する「ちくりん」にとっては最後の日帰りレクリエーションです。

“ひらパー”にはさまざまなアトラクションがあります。ティーカップ、メリーゴーラウンド、迷路、園内トレイン、大観覧車、巨大冷蔵庫など。絶叫マシンと呼ばれるものも多数あります。円形ゴムボートでの激流下り、丸太のウォーターライド、垂直落下ライド、数種のコースターなどなど。これらのアトラクションを前にしてドキドキしていた利用者さんでしたが、果敢に過激な乗り物にも挑戦され、大きな声で絶叫された後は、さわやかな表情をされていたのが印象的でした。



“ひらパー”は、バスや電車など公共交通機関を利用し、片道約2時間のルートです。たくさん歩き、満員のバスや電車の乗り継ぎも経験しました。遠くにお出かけする機会の少ない利用者さんも多いので、気分はすっかり小旅行です。それぞれ歩みの速さも違いますが、無事に揃って最後の日帰りレクリエーションを満喫し、忘れられない一日となりました。最後になりましたが、今回も多数のボランティアさんにご協力をいただきまして、本当にありがとうございました。

クリスマス会&茶話会♪

12月6日(金)、朗読ボランティア・洛友会 合同企画によるクリスマス会・茶話会を開催しました。

今年は、利用者のご家族の方にも参加をいただき、総勢70名を超える賑わいとなり、山岡会長の若い、力のある挨拶で朗らかにスタート。朗読ボランティアさんは2作品を披露してくださり、音声の効果音を入れたお話は頭の中で情景をイメージしながら楽しく聞かせてもらいました。



洛友会からのゲームコーナーはイントロクイズ。盛り上がった後は、ご家族、ボランティアさんのけん玉対決で優勝を競いました。久しぶりのけん玉に慌てふためく方もおられ、ドキドキの表情がこぼれていました。優勝チームには、心温まるクリスマスプレゼントを贈呈。そして、成宮先生、白数先生のクリスマスソングのピアノ演奏。素敵な音色に会場はクリスマスモードに酔いしれました。

最後は藤井副会長のふるさとの言葉で「おおきに」と、感謝の気持ちとともにハッピーなクリスマス会となりました。

忘年会をしました♪



12月17日、作業所の忘年会として「きらく水産」(居酒屋風お寿司屋さん)へ行ってきました。いつものようにレクリエーション委員が主となって意見を聞き取り、「お寿司が食べたい」という意見が多く、徒歩圏内のこのお店で忘年会を開くこととなりました。

事前にメニューを紹介していたこともあって、「コロッケを食べる」、「唐揚げがいい」、「何食べようかな」、「蟹グラタン食べよう」と、日が近づくにつれて休み時間にはそんな声ばかり聞こえてきました。

迎えた当日は生憎の空模様でしたが、皆で元気よく歩いてお店に向かい、2時間たっぷりとお腹いっぱい食べて飲んで楽しみました。締めはもちろんデザートで！

ほんの短い時間でしたが、皆で1年の労をねぎらい、新年への英気を養ったいい時間となりました。

★新しい仲間を紹介します★



変わり者で心配性ですが、優しく尊重して頂ければ幸いです。
洛西寮でみんなと一緒に作業ができることが良かったです。
どうぞよろしく願いたします。

らくさい作業所 にしむら 西村 ほなみ 保波さん

訪問型体力測定♪

今年も京都市地域リハビリテーション推進センターによる、訪問型体力測定を受けました。

昨年度はモデルケースでの実施だった為、参加人数に制限がありましたが、今年度は希望者全員が可能となり、24名もの多くの利用者が受けられました。

筋力や柔軟性、バランス、持久力など、視覚障害者の方が受けやすいように様々な工夫が凝らされていて、

「体力測定は学生の時以来、数十年ぶり！」「バランス難しい！」などと、

みなさん楽しみながらも真剣に取り組まれていました。

測定後は、理学・作業療法士から、一人一人に適したストレッチや運動指導を行っていただき、

体を見つめなおす良い機会となりました。



洛西寮の3居室を個室化しました！

洛西寮の居室は和室の二人部屋ですが、居室に間仕切りを設置して洋室へと改修しました。完全な個室ではありませんが、プライベートな環境と空間が確保できるようになっています。大きな収納もつくり、みなさんにも好評です。これで、15部屋中4部屋が個室化できました。今後も個室化を進めて行きたいと思います。



施設利用者募集中！

2020年4月より、就労継続支援B型らくさい作業所は定員20名から40名へと生活介護を廃止してB型の定員枠を広げます。(2、3頁参照)

視覚障害者の「働く・生活する・訓練する」の3つの機能がよりパワーアップ！

「希望に満ちた成長への喜び」を法人理念に、

みなさまの喜びが法人の喜びとなりますよう、支援を充実していきます。

入所・通所ともに若干名の施設利用者を募集しています。

見学・相談は常時受けつけていますので、お気軽にお問合せ下さい。

(TEL 075-333-0171)

ご寄附・ご寄贈 ※8月～12月(五十音順・敬称略)

以下の方々より、ご寄附・ご寄贈を頂戴いたしました。ありがとうございました。

ご寄附(合計399,000)

大芝幸雄 尾柳宏一 すこやかクラブ西京

オカリナサークルポップコーン

竹川勝見 西牟田さち子 野間赳夫

長谷福祉会

ご寄贈(10件)

出原恵子 拡大写本ルーベ京都

(株)朱常分店 京都青果協会

更生保護女性連盟会 生命の貯蓄体操

田中美恵 延原千代子 平井多津子

松本光次

♪編集後記♪

井上靖さんの言葉に「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」とあります。すごく突き刺さります。これを自分なりに置き換えると「希望を語る人は誰かのために、不満を語る人は自分のために」となるのではないのでしょうか。日々精進、未来に向かって突き進みたいものです。(T)